

令和2年度

自己点検・自己評価

学校法人 青池学園
富山調理製菓専門学校

自己点検・自己評価

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1

①課題・改善点

理念や学園の教育方針・目標から各科の目標を設定している。
体験入学時に学校の姿勢を伝えている。入学後は新入生研修において新入生に伝えており、
個人目標を掲げ、取り組んでいる。

②今後の方策

入学時だけでなく、継続的に学生に伝えることや振り返りをする必要がある。
また、今一度、理念や学園の教育方針・目標、各科の目標について全職員が理解を深め、
本校の教育についての基盤を固めなければならない。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・ 意思決定システムは確立されているか	④	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題・改善点

システムの導入により、個人情報管理、教育活動などがシステム化されたことで業務の効率化につながると考える。

令和2年度より、企画運営委員会が開催され意思決定システムがより確立された。

②今後の方策

導入にされたシステムを利用して業務の効率化を進めていく。

意思決定システムの構築によりスムーズに決定できる環境が整ったが、より精度を上げ今後も継続して学校運営をスムーズにできる体制を整えていく必要がある。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 ② 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

①課題・改善点

人生設計を含めたキャリアデザイン、キャリア教育を少しずつ導入している。入学直後からキャリアサポートプログラムへの取り組みの第一段階として、新入生研修を実施しているが、年間を通して継続することが大切である。必要に応じて特別講義等を行なっている。企業との連携のなかで、調理実習等の実践力を高めるために講師として授業を担当していただくこともある。

②今後の方策

新入生研修を実施しているがプログラムについての課題検討を要する。また、継続的な教育を検討、実施する必要がある。
教育課程編成委員会の活用（業界団体等との連携）
研修日を設定し自己研鑽の実施。
学園全体の研修方法（オンライン）について検討していく必要がある。

(4) 教育成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1

① 課題・改善点

就職、資格取得についても一年次より継続的にサポートしているが、より手厚いサポートが必要である。
卒業生の卒業後の現況を十分に把握できていないため、同窓会組織を立ち上げたがコロナ禍の中なかなか集まるのが難しい。

② 今後の方策

退学理由を把握し、低減に活用していくことを継続する。(学生支援シートの活用)
同窓会名簿の作成により、卒業生の現況を把握していくシステムが必要である。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

①課題・改善点

進路については1年次からキャリアサポートにより意識づけをしている。経済的に不安を抱えている学生については修学資金や日本学生支援機構など、既存の奨学金の情報を提供している。現在は分割納入などにも対応し、相談に応じる体制を整えている。保護者とは、常に緊密な連絡をとり学校生活や成績に関する不安の解消に努めている。専任のキャリアコンサルタントが在籍しサポートしている。

②今後の方策

奨学金希望者が増加している現状を鑑み、別の奨学金制度を調査、対応する必要がある。富山県や市町村の修学資金制度について周知していく。また、「高等教育の修学支援新制度」が開始され入学料、授業料の減免制度が実施されている。本校は機関要件の確認を受けているので、新制度の周知に努め、学生支援にあたっていく。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題・改善点

防災など危機管理に関する教育・訓練は今後の課題である。

② 今後の方策

有事における対応についての訓練を繰り返すことによって認識を高めていく。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題・改善点

少子化、大学全入時代の中、専門学校希望者は年々減少している。
体験入学やイベントを魅力あるものにすることや他校との違いをアピールする。
体験入学やイベントに体験生が参加しやすい方法を検討し実施した。
全教員が学生募集を意識する取り組みとして、広報活動の役割分担を行い実行した。

② 今後の方策

全職員が計画的に学生募集を意識して取り組んでいく。
学生募集上の訴求度を高める各種データを正確に収集し伝えることが必要。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

①課題・改善点

広報活動の工夫により年々入学者数は増加している。
 今後の学生減少対策に向け、中長期的な取り組みが必要である。

②今後の方策

入学者数の確保は、学校の財務基盤にも深く影響するため、毎年、入学定員を満たすよう
 広報と連携した戦略が今後も必要である。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

①課題・改善点

個人情報については学校全体で保護を図っている。特に個人データ、外部秘データ取扱いの注意は周知徹底、意識啓発を継続的に行っている。
自己点検・自己評価結果は一部ホームページを通じ公開している。

②今後の方策

個人情報など運営上漏洩してはならない情報の管理についての規定を整備する必要がある。
自己点検・自己評価結果はホームページ上で公開しているので、継続する。
十分なセキュリティ対策を講じる。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

①課題・改善点

学校も学生も地域に受け入れてもらえるような地域社会と連携する取り組みを行っている。学校全体で意識してボランティア活動を積極的に参加するように学生に促していく。本校を会場としたイベントでは、富山県食材を使用した創作料理の企画や学生の調理協力等資源の活用を行っている。

②今後の方策

地域からの要望・提案を受けられるシステムづくりを検討する。学校としてできることを地域に向けて発信し実施していく。地域の方々に学校に来ていただけるような学生主体の活動をさらに取り入れる。また、学生が主体的にボランティアに参加するよう意識付けていく。